



# 第三十回邦楽鑑賞会 日本音楽の響き

～尺八・一絃琴・地歌・箏曲・琵琶・義太夫～

令和4年6月24日(金)午後18:30 開演  
(18:00 開場)

会場：牛込筆筍区民ホ一儿 (新宿区筆筍町 15番地)

入場料：1000円 (チケット取り扱い：出演者及び当日券あり)

主催：新宿区邦楽連盟 後援：新宿区 神楽坂通り商店会

新宿区民の方は先着50名を無料ご招待!

お問合せ：nyodokai@me.com (神宛)

# 曲目紹介

## 1 「無住心曲」 神如道 生曲

古くから虚無僧が吹き伝えてきた「尺八古典本曲」を集大成した神如道が、本曲の持つ技法、音楽的魅力をを結集して生み出した、珠玉の一曲。

## 2 「漁火」 松島有伯 作曲

宇治川の網代木のまわりで漂いとどまる川波に、人生の行方への思いを古人と同様に馳せたのであろう。一絃琴の名曲の一つとされている。

## 3 「加賀見山旧錦絵 ～草履打の段～」

奥御殿の女性の仇討ち物語。中老・尾上は、お家横領を狙う局・岩藤の企てを知ってしまったため、鶴岡八幡宮で岩藤から執拗に辱められる事となる。

## 4 「鹿の遠音」 琴古流本曲

秋の奥山深く、遠くから聞こえる鹿の鳴声などを描写した、音楽的完成度の非常に高い、琴古流を代表する名曲である。

## 5 「伏見の吹雪」 達邑玉蘭作詞 初代橘旭翁 作曲

吹雪の中、幼子三人を連れ平家の追討を逃れて行く常盤御前。後年、義経は平家の大将となって全軍を叱咤した。この大号令の声こそ、雪中母の懷で泣いていた牛若丸の声なのだ。

## 6 「松竹梅」 三橋勾当 作曲

松・竹・梅を主題とした慶祝曲。京と根引きの松と鶴に御所の風景。江戸の月と虫の音、風にそよぐ竹、浪花の鶯と梅で構成されている。

## 新宿区邦楽連盟

新宿区はもともと多くの優れた邦楽演奏家の住む地域ですが、平成元年に三曲（尺八、箏曲、三絃）の演奏家を中心として「新宿区邦楽三曲連盟」が結成されました。目的は、広く日本音楽を普及、発展させることにあります。その基盤は、何と云っても出来るだけ多くの人々が、音楽を実践、習得して、自ら楽しみ、活動してゆくことにあります。2002年からは、小・中学校でも「我が国の音楽の実践」が取り入れられましたが、さらなる充実を図るべく今後も活動して参ります。

また、今年度よりより広範な邦楽の範囲を念頭に、団体名を「新宿区邦楽連盟」と致します。

令和四年六月二十四日

新宿区邦楽連盟事務局  
電話：03-3341-5755

新宿区四谷三栄町16-17川瀬方  
e-mail:jimu@chikuyusha.jp

